

[別紙④]

1 教材文 (自作)

「あるがままの自分」で この社会に生きていく

私は、好きな人と結婚した。
出会って、恋をして、一緒に生きていきたいと考えたから。
誰かが誰かのことを好きになるのは、生き方のひとつだ。
人は、恋愛をするのも、結婚するのも、自由だ。
私たちは、勇気を出して結婚することを市役所に提出した。
「婚姻届」を提出することによって、「ふうふ」として社会に知らせるためである。
だが、私たちの婚姻届は提出できなかった。
その理由は、こうだった。
「女性が女性と結婚することは、法律上できません。」
たった一枚の紙に、私たちの思いはのせられなかった。
そして、私たちのことを、社会に認めてもらえない気持ちでいっぱいだった。
婚姻届を提出できなかったら、「あなたたちは家族じゃないでしょ。」と言われてしまつて、好きな人が病院のベッドで亡くなる瞬間に一緒にいることができないかもしれない。このほかにも、私たちの生活の中に、数多くの壁が生まれることになる。
それでも私たちは、自分の心に向そをついてまでも、男性と一緒に生きていくことを選ばなかった。
誰かが、誰かを好きになること。
誰も、好きにならないこと。
何が良くて、何が悪いの？
誰か、教えて。
結婚から数年経った今も、法律は変わらないので婚姻届は提出できません。
それでも、私たちは、「私たちの未来」という希望をもって、この社会に生きていく。
だれもが、「あるがままの自分」で生きていくことのできる社会になりますように。

2 児童の感想

私だったら、もし知り合いで女性と女性が付き合っていたりしても、否定せずによりそう形でふだん通りにすればいいと思います。私は私で自由に生きていけばいいと思います。私も未来の自分は分からないけど、もしパートナーが女性、男性だとしても自分がその人が良いと思う人を選んだらいいと思いました。

ぼくは、好きな人と結婚して暮らすには、まず差別をなくさないといけないと思いました。6年生は社会で歴史を習っているけど、昔と今を比べたら、昔の方が差別はひどかった。今は昔に比べたら差別は減っているけど、まだ差別はなくなっていないから、完全に差別をなくしたいなあと思っています。

確かに周りの人がやっていないことをするのは、不安でとても勇気がいるけど、「自分らしく」生きるためには、そういう気持ちを捨てなくちゃだめだ。私は、同性婚は別にしても良いと思う。少子化を恐れていても解決ができるなら、自分らしくありのままに生きていけばいいと思う。

何があろうと、周りの目を気にしないことが一番大切だと思う。自分の人生なんだから、好きなようにして、好きなように生きた方が人生、価値があると思う。女性と女性が結婚できなくても、いっしょにいただけで幸せだと思うから、それでもいいと思う。